



東日本大震災

(2011.10.30 発行)

全難聴対策本部ニュース 第6号

【発行責任者】東北地方太平洋沖地震全難聴対策本部長 高岡 正

〒162-0066 東京都新宿区市谷台町14-5 MSビル市ヶ谷台1階

TEL:03-3225-5600 FAX:03-3354-0046 E-mail:zennancho@zennancho.or.jp

前回に続き、9月4日(土)に全難聴、人工内耳友の会 ACITA、声援隊の3団体主催で開催された「9月9日人工内耳の日記念 ウォーク&トーク」イベントの講演内容からご紹介します。

■私の3月11日と、その後(続き)

人工内耳友の会 [ACITA] 東北支部長

森谷 秀幸

5 同障者の被災状況と原発災害について

3月11日以後は地震、津波、原発事故の三重苦で、人工内耳会員も福島難聴の会員もさまざまな決断を迫られました。

会員の死亡者はありませんが、家屋の全壊4、半壊3、一部損壊多数、津波での家屋の流失、冠水などです。今日お見えになっている虎の門病院で脳幹インプラント手術をされたSさんも、いわき市にお住まいですが、津波で大きく冠水し、内部がめちゃめちゃになっています。

停電、断水は1週間位が多かったのですが、水を確保するため5時間も並んだ会員、携帯が通信不能で連絡がとれず、孤立状態

に置かれた会員も多かったようです。

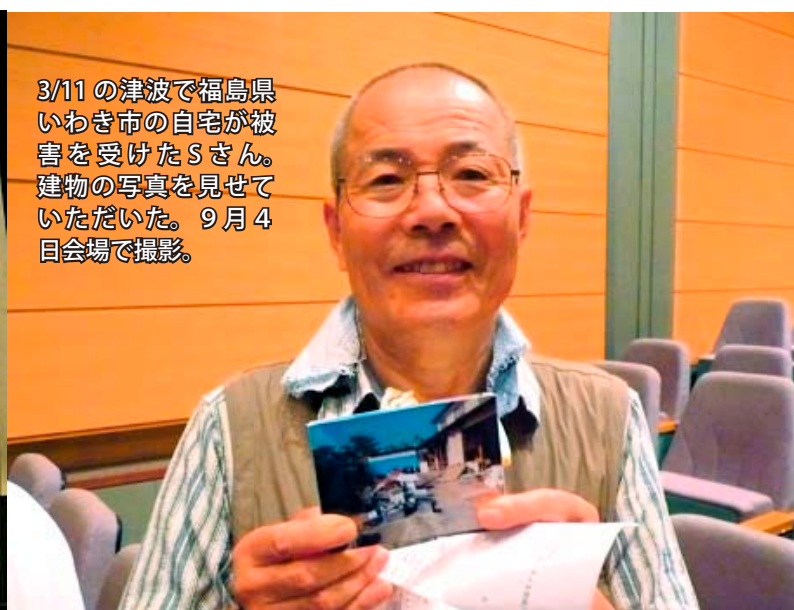
いわき市に嫁いで36年の会員のNさんは家屋が津波で流されただけでなく、火災も発生し長年住み慣れた町そのものがなくなり、財産はもとより築いてきた近隣との絆を失いました。原発の爆発もあり東京の娘さん宅に逃げています。また南相馬市に住んでいたIさんは原発近くですので、爆発後すぐ福島市に、その後親戚を頼って山形に避難しました。あまり長く迷惑をかけられないと、今は戻って生活していますが、放射能の被曝などを心配しています。乳児や幼児を抱えた会員は北海道、山形、和歌山、埼玉県等に避難しました。

今回の震災で困ったことは、テレビで地元のニュース等には字幕がなく、情報をとるのに苦労しました。ガソリンが手に入らず動くに動けず困りました。透析できる病院を捜し5か所も移動して、筆談でコミをとり何とか切り抜けた、といった切実な声もありました。

原発事故が起きるまで、「原発は安心、安全」と言われ続けてきましたので、まさかと思いました。何の予備知識もなかったので、あわてましたね。



9月4日(日)、講演する人工内耳友の会 [ACITA] 東北支部長森谷秀幸さん。YMCA アジア青少年センター(千代田区)。



3/11の津波で福島県いわき市の自宅が被害を受けたSさん。建物の写真を見せていただいた。9月4日会場で撮影。

東京電力福島第一原発から私の住んでいる郡山市までは約 60km。毎日放射線量を確認することが日課になりました。日記帳には3月16日に 2.96 マイクロシーベルトとあります。8月に入って0.9と1を切りましたが。室内は0.2から0.4、室外の溝などで最高2.5マイクロシーベルトありました。

毎年お盆に帰る8人の孫達も「原発怖い」と1人も帰らず、今年は寂しいお盆でした。

家庭菜園で毎年野菜や柿、ジャム用のブラックベリーなどを手作りしてきましたが、梅やベリー類は危ないという情報もあり、今年は梅とベリー類は全部放棄しました。自分で作った作物も安心して食べられないのは哀しいことですね。

3月から5月頃まで、線量も多く、隙間にテープを張り、換気扇も回せず、外出は帽子に長袖、手袋、マスク姿が定番でした。洗濯物は室内干しで、近所の子供達はこの暑さにも帽子、長袖、マスク姿で毎日登校する姿を見るにつけ、怒りが湧いて来ます。幼児や子供を抱える父兄の嘆きは大変なものですね。

6 東京の電力は福島で作られていた

今回の原発災害で皆さんも東京の電力が福島で作られていることを初めて知った方も多いのではと思いますがどうでしょうか。

今この日本でどういうことが進行しているのか、私達一人一人に何ができるかを問われ

ています。

最後にお礼状が来ていますのでちょっと読んでみますね。家屋を津波で流失し土台だけ残り、街も流されて補聴器の電池も買うことも難しかった難聴のIさんからです。

「3月11日の震災から5か月が過ぎました。全難聴の皆様、いろいろご心配下さりまして、またお見舞金を頂戴しましてありがとうございました。また福島県中途失聴・難聴者協会の皆様には八方に手を尽くされて私を捜して連絡を下さりありがとうございます。

沢山の方々からご心配いただき、この年齢でご恩を返すこともできませんので何か役に立つことはないかと思っています」とのことでした。

(「ウォーク&トーク」実行委員会Webより要約転載 文責小川)

■全難聴の義援金取り組み状況

全難聴では被災された中途失聴・難聴者、関係者支援活動のため「災害義援金」を募っています。10月27日現在17,438,903円です。24年3月までに2,000万円を目標としています。引き続きご協力お願いいたします。

・送金先 郵便振替口座

00180-9-576172 (社)全難聴
※お願い 普通の振込用紙を使用の際は「通信欄」に“東北地震義援金”と明記下さい。

■全難聴災害対策本部ブログと中央本部 HP
東北地方太平洋沖地震全難聴対策本部ブログ

http://blog.goo.ne.jp/zennan_saigai

東日本大震災聴覚障害者救援中央本部

<http://www.jfd.or.jp/tohoku-eq2011/>

■このニュースは毎月末日発行しています■

10月17日(月)、宮城県南三陸町で。被災地には今もこのような建物が片付けられずに残っている。

